



学校だより 11月

【学校教育目標】「力を合わせ 笑顔が光る日限の子」

令和3年10月29日

横浜市立日限山小学校

〒233-0015

港南区日限山二丁目16番1

TEL 045(841)6561

競い合い・励まし合い・たたえ合い

副校長 武石 博行

「中庭でリレーの練習をしたいのでどなたか先生に見てほしいのですけど。」

10月、通常登校が再開して間もない日の休み時間のことです。運動会のリレー選手に選ばれた高学年の子どもたちが職員室にきました。中庭は子どもだけで活動ができないため、教師に付き添ってほしいとのことでした。近くにいた教師が見守る中、バトンパスの練習が始まりました。本番までに少しでもタイムを縮めようと、各チームで自主的に練習をしているということでした。

今年度の運動会は、2週間の期間を設けて平日に団体競技やリレーを行う分散開催としました。開会式は18日（月）に行われました。今年度の運動会テーマは「一生懸命！ 切磋琢磨！ 絶対勝利！ ～一人ひとりの心に残る運動会にしよう～」です。運動会実行委員から、「去年は点数がつかなかったけど、今年は赤白に分かれて競い合うことができます。」と、運動会テーマに込めた思いも発表されました。「競い合うことができる」という言葉に、子どもたちの運動会への期待の高さを感じました。

20日（水）からは、低・中・高学年ごとに団体競技を行ったり代表選手による低・高学年リレーを実施したりしました。どの学年の子どもたちも一生懸命力を出し切って競い合っていました。競技中の声援や結果が発表された時の歓声。飛び上がって喜ぶ子、残念そうに悔しがる子、そして、結果に落ち込む友達にそっと寄り添って励ます子など、子どもたちの様々な表情が見られました。どの姿も得点が入る競技ならではのことだと思いました。

昨日行われた高学年リレーは、それぞれのチームが1本のバトンをぎりぎりのタイミングで繋ぐ緊張感のあるレース展開でした。黄色チームが1位という結果でしたが、順位と一緒にどのチームもベストタイムであったことが発表されると、赤組・白組関係なく拍手でたたえ合う姿がとても印象的でした。レース後、涙を浮かべながら教師の話聞く子もいました。バトンが最後まで繋がったことが嬉しかったとのことでした。勝敗だけでなく、チームの仲間全員が力を合わせて残した記録は、とても価値の高いものだと思います。中庭で自主的に練習してきた地道な努力が実を結んだ瞬間だったことでしょう。

明日はいよいよ運動会の最終日です。学年ごとに徒競走と団体演技を行います。団体演技は約1か月間練習をしてきました。本番の発表時間は数分ですが、その一瞬に輝いてほしいと思います。個人競技の徒競走は、一人ひとりが自分の力を出し切って走ります。勝負の結果だけでなく、真剣に競い合う子どもたちの表情もぜひご覧ください。

明日の運動会は、全校児童と保護者の皆様が集まる久々の場となります。実行委員が発表した運動会テーマのように、保護者の皆様にとっても子どもたち一人ひとりにとっても心に残る運動会になることを願っています。

